

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2 【かかわる】	⑨【仲間や地域の人々とのつながり】 幼児や高齢の人々・障がいのある人々等と一緒に生活している地域社会において、互いに支え合う仲間の大切さや地域の方々のありがたさをする。	児童会行事

【題材】 たてわり班活動

【対象】 全校児童

【実践の概要】

本校児童は、まじめで素直な児童が多いが、自ら進んで活動したり、問題点を解決しようとする意識が高いとは言えない。また、人間関係が希薄であり、異学年との関わりも多いとは言えない。震災後、地域が分断されたこともあり、その傾向が大きくなっているようであった。

そこで、平成24年度から、全校たてわり班（スマイル班）を結成し、友だち（異学年も）との活動を通して社会性を高めたり自分たちで企画運営する機会を設けることで、主体性や自主性を高めたいと考えた。また、全教職員で全校児童に関わることで、児童理解を深め、共通理解を図りたいと考え取り組んだ。

【25年度推進計画】

- ① 1学期：児童会担当者、教務主任が原案を作成し、提案
- ② 8月中旬：たてわり班メンバー構成案作成（担任）
- ③ 9月上旬：メンバーについて検討（担任）・決定・名簿作成（教務）
- ④ 9月上旬：児童へたてわり班についての説明とメンバー発表（担任）
- ⑤ 9月上旬：たてわり班集会で、班毎に自己紹介・めあての確認・全体ゲーム
- ⑥ 9月中旬～：長縄集会への取り組み（なかよし週間）
- ⑦ 9月下旬：長縄集会（児童会行事）
- ⑧ 10月～11月：スマイルデー（たてわり班遊びの日）を2回設定し、班毎の交流を図る。
- ⑨ 12月～3月：委員会企画の行事や6年生を送る会でもたてわり班を活用し、関係を深める。

【活動の様子】



【児童の感想】

去年から始まった、たてわり班、みんなで盛り上がっています。たくさん笑顔が見られます。他の学年とたくさん話をしたり遊んだりして、みんなのことをたくさん知りたいです。(6年)

長縄跳びの練習が始まりました。2年生が跳べなかったので、跳べるように教えてあげました。これからも、跳べない、こわいという人がいたら、教えたいと思いました。(6年)

長縄跳びをやったことで、みんなと親しくなって話す機会も多くなり友情が深まった感じがしました。みんなの笑顔が見られた長縄跳び大会でした。(6年)

・下学年からも「おにいさんおねえさんがやさしかった。」「ながなわをとべるようになってよかった。」「スマイルデーで、みんなが笑顔になってよかった。」「1年生のお手本になった。」「〇〇くんがはじめてとべて、うれしかった。」「みんなの名前もおぼえられた。」などの感想が聞かれた。

【まとめ】

- 全校で楽しい活動を企画し実施することで、異学年間の交流が深まった。また、リーダーの自主性が高まった。
- 全校での取り組みであるため、日程、委員会や学級の活動との調整が難しかった。

【本校の今年度の取り組みについて ～キーワード～「安心・前進・発信」～】

児童保護者にとっても、安心を与えられる学校であること、少しずつ前進を感じられる1年にすることは、昨年度と共通しているが、安心や前進を実感していくためには、震災を学び、受け止め、自ら語ったり書いたり、何らかの形で表現する作業(発信)が必要であると考え。そして、表現したことが誰かのためになったり、認められたりすることで、震災と復興について更に学び、未来に希望をもてる児童を育成することができるのではないかと考え復興教育に取り組んだ。

< 1 生命や心について【いきる】から >
 ・年2回の個別面談での表出と実態のみとり。
 ・心とからだの健康観察の実施と結果の活用
 (生徒指導交流会、チーム会議等での共通理解)
 ・学級経営の充実
 ・避難訓練等の前後の指導を丁寧に行う。
 (リラクゼーション等含む)
 ※全学年、教育活動全体を通して日常的に取り組む。

< 2 人や地域について【かかわる】から >
 ・道徳、保健体育、食育
 ・学校行事、児童会活動
 (たてわり班活動、委員会活動、学習発表会、運動会での表現・発信等)
 ・総合的な学習の時間、生活科での校外学習を通して、村の復興の様子を学ぶ。
 ・課外での活動
 (合奏団、高学年有志による村の祭りへの参加)

【学年での主な実践例】

1年	生活	がっこうだいすき
2年	生活	鮭の稚魚放流 三陸鉄道に乗ろう
4年	総合	お米を作ろう ボランティアについて考えよう
5年	総合	野田の食文化再発見 (学習発表会で発信) 都市公園デザイン
6年	総合 学校 行事	都市公園デザイン 修学旅行 (村の復興の様子を発信) 野田村の未来を考えよう (生涯学習大会で発信予定)

< 3 防災や安全について【そなえる】から >
 ・避難カードの定期的な確認
 ・避難訓練の充実(地震・津波、不審者、火災)
 ・避難所を確認しながらの一斉下校指導
 ・児童安全の日の設定(危険箇所、避難方法、避難カード、整列の仕方等の確認)
 ・職員避難訓練

【学年での主な実践例】

2年	生活	どきどきわくわくまち探検
3年	総合 等	防災マップを作ろう (校内・学習発表会で発信)
5年	総合	いのちのつながり・防災
6年	総合	防災に関わる授業